

■鶺野平和祈念の碑の建立

平成6年11月、滑走路跡で開催された「KASAI スカイパークフェスティバル」が契機となり、滑走路近くの会社に勤務していた上谷昭夫さんが、元海軍関係者や地元関係者との出会いを通して、鶺野飛行場の戦史調査を行うことになりました。

調査は、防衛研究所図書館に通うなど本格的なものであり、関係者に話を聞く中で、資料や写真の提供を受けるようになり、この基地で特攻隊が編成され出撃していたことも判明しました。

地元「鶺野平和祈念の碑苑保存会」（三宅通義会長）が結成され、平成11年10月に碑が建立されました。

碑には、元特攻隊員の思いや戦死者氏名、搭乗員殉職



鶺野飛行場跡地に建立された鶺野平和祈念の碑苑

者の名前が刻まれています。再び戦争のない平和を祈念するモニュメントとして、基地建設の経緯、基地および川西航空機鶺野工場の概要なども記され、名前も「平和祈念の碑」とされました。

建立にあわせ、上谷さんは、調査研究の成果を『いまに残る姫路基地』（上谷昭夫編、鶺野平和祈念の碑建立実行委員会、1999年）にまとめました。その後、川西航空機に焦点をあてた『紫の閃光－川西航空機秘話』（上谷昭夫編、鶺野平和祈念の碑苑保存会、2002年）が出版されました。この二冊は、姫路航空隊基地と川西航空機鶺野工場を知る上で貴重な資料となっています。



鶺野飛行場資料館（鶺野町 2193）

時代の経過とともに、当時の記録はますます貴重なものとなりつつあります。鶺野平和祈念の碑苑保存会では、鶺野飛行場や加西市での戦争関連の資料を集めています。ご協力をお願いします。 **問合せ先**／同保存会（三宅） ☎ 49-0759

■戦争遺産の活用の動き

平成22年には、飛行場に関する基礎調査を加西市と神戸大学で実施しました。また、「戦争遺産見学バスツアー」の企画など、戦争遺産を観光資源として活用していく取り組みが行われました。

平成23年には、地元鶺野中町の住民が中心となり、コンクリート製の地下指揮所と考えられる防空壕を展示場として整備し、平和学習に役立てようと公開しています。見学希望者は加西市観光案内所（☎ 42-8823）まで。

平成26年には、鶺野平和祈念の碑苑保存会により「鶺野飛行場資料館」がオープンし、飛行場の歴史をまとめたパネルや戦闘機模型などが展示されています（毎月第1・3日曜日、10:00～16:00、入場無料）。また、コンクリート製の機銃座の整備も進みました。

平成27年には、戦後70年の節目として、「戦争遺産シンポジウム」を開催。阪神から姫路にかけてバス5台を含む約400名の方に参加いただき、加西の戦争遺産をより知っていただくきっかけとなりました。



鉄と樹脂で造られた対空機銃の実物大模型（銃身約1.5m）

■参考／鶺野飛行場についてもっと知りたい方は、次の資料もご覧ください（市ホームページからも可）。
・「加西・鶺野飛行場跡（旧姫路海軍航空隊基地）」
・「神戸大学・加西市共同研究 鶺野飛行場関係歴史遺産－活用シンポジウム記録集・基礎調査報告書－」